



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **07021069 A**(43) Date of publication of application: **24 . 01 . 95**

(51) Int. Cl

G06F 12/00
G06F 17/30
G06T 1/00

(21) Application number: **05146640**(71) Applicant: **TOSHIBA CORP**(22) Date of filing: **18 . 06 . 93**(72) Inventor: **OKUMURA TAKESHI**

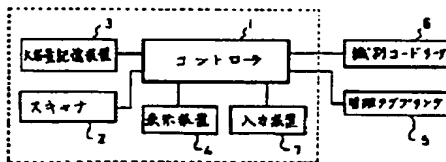
**(54) ELECTRONIC FILING DEVICE AND FILE
 MANAGING METHOD**

(57) Abstract:

PURPOSE: To provide an electronic filing device and a file managing method capable of surely managing a file without using a file name and a key word, etc., and surely retrieving the file with an easy operation.

CONSTITUTION: A controller 1, when reading an original to be made into the file from a scanner 2, number-generates an identification code, and records the original on a large capacity recorder 3 based on the identification code. After that, the controller 1 outputs a managing tag on which the identification code is displayed from a printer 5. A user manages by classifying the managing tag, and when it is desired to observe the original made into the file, the controller 1 reads out the original in accordance with a read in identification code from the large capacity recorder 3 by reading a corresponding managing tag in an identification code reader 6, and it is displayed on a display device 4.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-21069

(43) 公開日 平成7年(1995)1月24日

(51) Int.Cl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 12/00	5 2 0 P	8944-5B		
17/30				
G 0 6 T 1/00				
		9194-5L	G 0 6 F 15/ 40	5 3 0 C
		8125-5L	15/ 62	3 3 0 A
			審査請求 未請求 請求項の数3	O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平5-146640

(22) 出願日 平成5年(1993)6月18日

(71) 出願人 000003078

株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(72) 発明者 奥村 健

東京都青梅市末広町2丁目9番地 株式会

社東芝青梅工場内

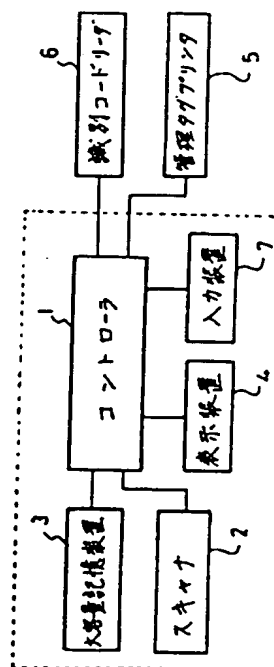
(74) 代理人 弁理士 則近 憲佑

(54) 【発明の名称】 電子ファイル装置及びファイル管理方法

(57) 【要約】

【目的】 本発明は、ファイル名やキーワード等を用いることなくファイルを確実に管理することができると共に、簡単な操作によって確実にファイルを検索することができる電子ファイル装置及びファイル管理方法を提供することを目的としている。

【構成】 本発明において、コントローラ1はスキャナ2からファイル化する原稿を読み取ると、識別コードを発番し、この識別コードに基づいて大容量記録装置3に前記原稿を記録する。その後、コントローラ1は前記識別コードを表示した管理タグをプリンタ5から出力する。利用者はこの管理タグを分類管理し、ファイル化した原稿を見たい場合、対応する管理タグを識別コードリダ6に読み込ませると、コントローラ1は読み込んだ識別コードに対応する原稿を大容量記録装置3から読み出し、これを表示装置4に表示する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 スキャナから入力された原稿を記録装置に記録してファイル化する電子ファイル装置において、原稿が前記スキャナより入力された時に、識別コードを発番する発番手段と、この発番手段により発番された識別コードに基づいて前記スキャナから入力された原稿を前記記録装置に記録する記録制御手段と、前記識別コードを印刷した用紙を出力する印刷手段と、この印刷手段により出力された用紙上の識別コードを読み取る読取手段と、この読取手段により読み取られた識別コードに基づいて前記記録装置から対応する原稿を検索する検索手段と、この検索手段により検索された原稿を出力する出力装置とを具備したことを特徴とする電子ファイル装置。

【請求項2】 前記印刷手段は識別コードをスキャナより入力した原稿上に印刷することを特徴とする請求項1記載の電子ファイル装置。

【請求項3】 スキャナから入力された原稿を記録装置に記録してファイル化し、このファイル化した原稿を管理するファイル管理方法にあって、前記原稿を前記スキャナより入力する時に、識別コードを発番し、この発番した識別コードに基づいて前記スキャナから入力された原稿を前記記録装置に記録すると共に前記識別コードを印刷した用紙を出力し、その後、前記用紙上の識別コードを読み取ると、この識別コードに基づいて前記記録装置から対応する原稿を検索して出力することを特徴とするファイル管理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は書類等を電子化して大容量記録装置内にファイル化する電子ファイル装置に係り、特に、ファイル化した原稿の管理方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来この種の電子ファイル装置にて、利用者は書類等の原稿をスキャナに読み取らせて装置内に入力すると共に、この原稿のファイル名とキーワードを入力しなければならない。これにより、コントローラは入力された原稿を前記ファイル名とキーワードに基づいて大容量の記録装置に記録してファイル化する。従って、従来のファイル管理方法は上記のように利用者によって入力されたファイル名とキーワードによってファイル化した原稿を管理している。

【0003】 従って、利用者がファイル化した原稿の検索を行うには、前記原稿のファイル名を入力するか、或いはキーワードを入力するかしなければならない。ファイル名を入力した場合、コントローラはこのファイル名に1対1で対応する原稿を大容量記録装置から読み出して、表示装置に表示するか、或いはプリンタなどから印刷して出力する。しかし、キーワードが入力された場合、前記コントローラはこのキーワードで分類されるフ

ァイル名を大容量記憶装置から読み出して、これらファイル名を表示装置に一覧表示するため、利用者は表示されたファイル名の中から目的のファイルを見つける操作を行わなければならない。この場合、それらしいファイル名を見つけると、このファイル名に対応する原稿を大容量記憶装置から読み出して実際に表示装置上にその内容を表示させて、最終的に目的のファイルであるかどうかを利用者がチェックしなければならない。前記キーワードによって検索されたファイル名が多い場合には、かなりの手間と時間がかかってしまうことになる。

【0004】 上記のように従来の電子ファイル装置におけるファイル管理は紙の書類を管理保管するように、書類を単にラック等に格納する感覚とはほど遠く、利用者が装置が許容する範囲内での適格な管理体系（例えばファイル名とキーワード等による管理等）を考慮して、原稿をファイル化しなければならないと共に、装置の操作に熟練していなければならないという不都合があった。このため、電子ファイル装置によっては、装置を確実に使いこなすための操作を熟知した専任のオペレータをつける必要が生じ、人件費等が余計にかかるというような不都合もあった。尚、原稿をファイル化する時などにファイル名やキーワードをつける必要がない装置もあるが、このような装置はファイル化した原稿を検索するのが困難になるため、一般的ではない。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 上記のような従来の電子ファイル装置におけるファイル管理方法は、書類等の原稿を装置内に入力する際に、利用者は前記原稿に対応するファイル名やキーワードを入力する等して、装置のファイル管理体系に従わなければならない。紙の書類を保管するような感覚で書類をファイル化することができないという欠点があった。従って、利用者がファイル化した書類を検索するような場合、装置のファイル管理体系に従った検索操作を行わなければならない。ファイル名やキーワードを忘れてしまったような場合には検索が非常に困難となり、紙の書類を検索するように気楽に行うことができなかった。このため、電子ファイル装置を使用した円滑なファイル管理を行うには、それなりに装置の操作を熟練しておく必要があり、利用者にかかなりの負担がかかるという不都合があった。従って、ファイル管理装置によっては装置の操作を熟知した専任のオペレータを置く必要が生じ、人件費等がかさむという欠点もあった。

【0006】 そこで本発明は上記の欠点を除去し、ファイル名やキーワード等を用いることなくファイルを確実に管理できると共に、簡単な操作によって確実にファイルを検索することができる電子ファイル装置及びファイル管理方法を提供することを目的としている。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明はスキャナから入力された原稿を記録装置に記録してファイル化する電子ファイル装置において、原稿が前記スキャナより入力された時に、識別コードを発番する発番手段と、この発番手段により発番された識別コードに基づいて前記スキャナから入力された原稿を前記記録装置に記録する記録制御手段と、前記識別コードを印刷した用紙を出力する印刷手段と、この印刷手段により出力された用紙上の識別コードを読み取る読取手段と、この読取手段により読み取られた識別コードに基づいて前記記録装置から対応する原稿を検索する検索手段と、この検索手段により検索された原稿を出力する出力装置とを具備した構成を有する。

【0008】

【作用】本発明の電子ファイル装置において、発番手段は原稿がスキャナより入力された時に、識別コードを発番する。記録制御手段は前記発番手段により発番された識別コードに基づいて前記スキャナから入力された原稿を前記記録装置に記録する。印刷手段は前記識別コードを読み取った用紙を出力する。読取手段は前記印刷手段により出力された用紙上の識別コードを読み取る。検索手段は前記読取手段により読み取られた識別コードに基づいて前記記録装置から対応する原稿を検索する。出力装置は前記検索手段により検索された原稿を出力する。これにより、利用者は、原稿入力時にキーワードやファイル名を入力する必要がなく、又、検索時も識別コードが印刷された用紙を装置に読み込ませるだけで目的の原稿を検索することができるように、装置の操作に習熟することなく簡単に書類などをファイル化することができる。

【0009】

【実施例】以下、本発明の一実施例を図面を参照して説明する。図1は本発明の電子ファイル装置の一実施例を示したブロック図である。1はファイル管理や装置全体の制御を行うコントローラ、2は書類等のファイル対象となる原稿（画像データ）を読み取るスキャナ、3は原稿（ファイル）及び制御データを記録する大容量記録装置、4はファイル内容等を表示する表示装置、5は管理タグを用紙に印刷して出力する管理タグプリンタ、6は管理タグ上の識別コードを読み取る識別コードリーダ、7は原稿入力指令、検索指令或いはキーワードや原稿名などを利用者が入力する入力装置である。

【0010】次に本実施例の動作について説明する。利用者は入力装置7を操作して装置を原稿入力モードにしてから、ファイル化したい書類等の原稿をスキャナ2に読み取らせる。これにより、コントローラ1は図2のステップ201にてスキャナ2からの原稿（画像データ）の入力を開始する。この時、コントローラ1はステップ202にて識別コードを発番し、これをファイル名にして、スキャナ2から入力した原稿を大容量記録装置3に

記録する。従って、大容量記録装置3には原稿と共にこの原稿の読み書き制御を行うための制御データとして、図3に示すように識別コードと前記原稿が記録されている記録装置内の場所を示すアドレス情報とが一对となって制御データ領域に記録される。その後、ステップ203にて前記原稿のスキャナ2からの入力と大容量記録装置3への記録が終了すると、コントローラ1はステップ204へ進んで、入力した原稿の原稿名及びキーワードを入力するか否かを利用者に判定させる画面を表示装置4に表示する。これに応じて、利用者が入力装置7からキーワードや原稿名などを入力した場合は、コントローラ1はこれらデータも大容量記録装置3に記録されている図3に示すような制御データに付随して記録した後、ステップ205に進む。

【0011】又、キーワードや原稿名を付ける必要がない場合、利用者がそのことを入力装置7からコントローラ1に知らせてやると、コントローラ1はステップ205へ直ちに進んで、管理タグプリンタ5から図4に示すような管理タグを印刷して出力する。この管理タグは図4に示すように識別コード、この例では「1234」とこれに対応するバーコードが印刷されていると共に、メモ領域が印刷されている。ステップ206にて利用者はこの管理タグのメモ領域にファイル化した原稿に関する情報、例えば標題であるとか、日付等を記載して、分類、保管する。この利用者の管理タグの保管は、これをそのまま保管してもよいし、或いはファイル化した原稿の表紙にこの管理タグを張って、この表紙と共に分類保管してもよい。尚、図2のステップ204の処理は必ずしも必要ではなく、ステップ203から直ちにステップ205へ進むようにしてもよい。

【0012】次に、利用者が大容量記録装置3内にファイル化した書類を見たい場合、ステップ501にて利用者はその書類の管理タグを探して、これをステップ502にて識別コードリーダ6に読ませる。この時、識別コードリーダ6は管理タグ上のバーコードを読み取って、これをコントローラ1に入力する。これにより、コントローラ1はステップ503にて識別コードリーダ6から読み込まれた識別コードをキーとして大容量記録装置3内の制御データにアクセスし、前記識別コードで特定される原稿が記録されている大容量記録装置3のアドレス情報を読み出し、このアドレス情報で示される大容量記録装置3の記録エリアから原稿を読み出して表示装置4に表示する。これにより、利用者は所望のファイル化した書類等を表示装置4に表示させて見ることができる。

【0013】尚、コントローラ1は識別コードの分類一覧表の表示指令が利用により入力装置7から入力されると、大容量記録装置3の制御データ領域から識別コードを読み出し、これを一覧として表示装置4に表示させることもでき、又、この時、前記識別コードと共にキーワードなどが入力されていた場合には、このキーワード

に基づいて識別コードを分類した一覧表を作成して、これを表示装置4に表示することもできる。又、利用者が入力装置7を操作することにより、検索した原稿を表示装置4上の画面にスクロールして表示させるなどの各種機能をコントローラ1は備えているものとする。

【0014】本実施例によれば、ファイル化したい書類等の原稿を入力する際に、利用者はファイル名やキーワードなどを入力する必要がなく、ファイル管理体系を考えずに簡単に原稿をファイル化することができ、管理タグプリンタ5から排出される管理タグを分類管理しておくだけで、装置の操作に習熟する必要がなくなる。又、ファイル化した原稿を検索する際も、別途管理しておいた管理タグを識別コードリーダ6に読み込ませるだけで、目的のファイル化した原稿を表示装置4に表示させることができ、ここでも装置の操作を習熟することなく、簡単にファイル化した原稿を検索することができる。従って、初めて装置を使う利用者でも紙の書類をファイルするのと同様の感覚で原稿を容易にファイル化することができると共に、検索も容易且つ迅速に行うことができる。尚、管理タグプリンタ5は識別コードをスキャナ2によって読み込まれる原稿上に直接印刷する構成とし、利用者は前記識別コードが印刷された原稿を管理分類するようにしてもよい。

【0015】

【発明の効果】以上記述した如く本発明の電子ファイル装置及びファイル管理方法によれば、ファイル名やキーワード等を用いることなくファイルを確実に管理することができると共に、簡単な操作によって確実にファイルを検索することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の電子ファイル装置の一実施例を示したブロック図。

【図2】図1に示した装置の原稿ファイル処理を示したフローチャート。

【図3】図1の大容量記録装置に記録される制御データ例を示した図。

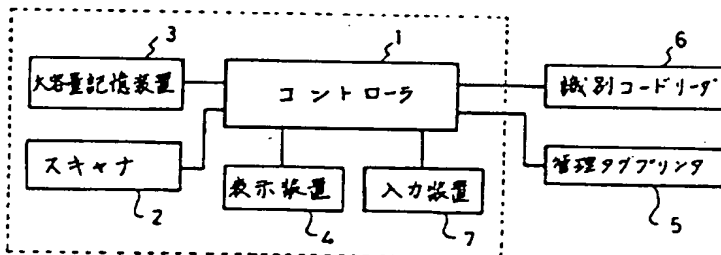
【図4】図1に示した管理タグプリンタから排出される管理タグの一例を示した図。

【図5】図1に示した装置のファイル原稿検索時の処理を示したフローチャート。

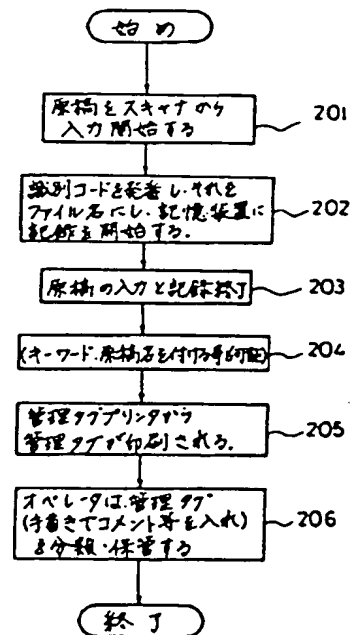
【符号の説明】

- | | |
|------------|------------|
| 1…コントローラ | 2…スキャナ |
| 3…大容量記録装置 | 4…表示装置 |
| 5…管理タグプリンタ | 6…識別コードリーダ |
| 7…入力装置 | |

【図1】




【図2】



【図3】

識別コード	アドレス情報
1 2 3 4	A X X B Y
...	...
...	...

【図4】

1	2	3	4	メモ
				

【図5】

